て六合ヶ原田原田佐々部係以下の味方
討負しときしてひろれい是又剛張指別ケ
所を上い今日の働きかおみてい四定発き
いくさけらんとひしめきくれい大将孫左
長つて和泉ヶ原と敗以下男女を失てやく
所ヶ お敗て敵の一門ヶ川ヶを味方の一面かし
て一先是ヶ引返し大田切を出て切列を拘
ひ討陣せん手同ヶ長ヶ係ヶ祝しなつき
て先引ヶよりて永先ヶ引返んとりヶ
ヶ大年の今世としてたもまかを成ヶく佐

ことくく終ヶ日和迫ヶ是を見て見人
設けし変ヶれい須ヶ今ヶをお高し羅
を部と指揚ヶ敵ヶ手押ヶ御田方
是ヶ乱ヶれ後御ヶれ山ヶ
の義を二回ヶ先上見をかき立ヶ敵ヶ人間と
作ヶ方を敗ヶ陣配ヶ花して鳴き叫んて
ヶ天維を義ヶ押牌ヶ停る
ヶヶ義ヶ指病部の作ヶ高ヶ見
ヶを人ヶ修ヶ先陣ヶ破れて何と云
ヶなく二人のヶ人ヶ迫ヶれい指軍